

新型コロナウイルス感染症によるスポーツへの影響

1. 令和2年度 文化スポーツ局主要事業

(1) スポーツの振興

人口減少対策の取り組み「リノベーション・神戸（第2弾）」の一環として、老朽化が進む垂水体育館および垂水区文化センター体育室を一体化し、垂水スポーツガーデン敷地内に新体育館を整備する。

また、都心・三宮再整備において、磯上公園内に、勤労会館と生田文化会館の体育館機能を一体化した新体育館を整備するとともに、体育館建設に向けた代替グラウンドの整備を行う。

さらに、新型コロナウイルス感染症の収束後には、スポーツの力で市民に活力を与えるため、ラグビーワールドカップのレガシーとして、ラグビーの普及啓発を行うほか、国際級・全国級のスポーツ大会開催を通じて、集客等による地域経済の活性化並びに、神戸のまちの魅力を世界に発信する機会とする。

(2) 大規模国際スポーツイベントの開催等

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、大会の開催状況等の情報収集を適切に行いながら、各大会の開催準備や機運醸成等に一層、力を入れて取り組む。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会については、大会が1年延期されたことを受け、事前合宿等の再調整や大会の機運醸成に取り組む。

ワールドマスターズゲームズ2021 関西は、予定通りの開催を目指して、本市で開催する6競技の開催準備に引き続き取り組むとともに、大会参加エンタリーの促進等、プロモーション活動を積極的に行う。

神戸2021世界パラ陸上競技選手権大会は、2022年8月26日から10日間へと開催を延期した。会場となるユニバー記念競技場のバリアフリー等改修や、各種基本計画の策定、プロモーション活動等に取り組む。

2. 令和2年度スポーツイベント一覧（神戸市関係分）

国際級

開催日	イベント名	会場	規模	状況
6.2～6.4	FUTSAL KOBE FESTA 2020	グリーンアリーナ神戸	1,800人	中止
6.4	FIFAワールドカップカタール2022アジア2次予選 兼 AFCアジアカップ中国2023予選	ノエビアスタジアム神戸	28,000人	延期
6.12～6.14	Fantasy on Ice 2020 in KOBE	グリーンアリーナ神戸	5,000人	中止
7.11	ラグビー日本代表国際試合(イングランド代表戦)	ノエビアスタジアム神戸	15,000人	中止
7.17	KIRIN CHALLENGE CUP（サッカーU23日本代表戦）	ノエビアスタジアム神戸	28,000人	中止

2. 令和2年度スポーツイベント一覧（神戸市関係分）

全国級

開催日	内容	会場	規模	状況
4.18～4.19	2020日本グランプリシリーズ 兵庫リレーカーニバル	ユニバー記念競技場	29,000人	中止
5.16～5.17	全国障害者野球大会	ほっともっとフィールド神戸 G7スタジアム神戸	1,000人	中止
6.11～6.14	宮里 藍 サントリーレディスオープン2020	六甲国際ゴルフクラブ	20,000人	中止
7.24～7.26	全農杯全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）	グリーンアリーナ神戸	4,500人	中止
8.5～8.9	全国高等学校柔道大会	グリーンアリーナ神戸	1,300人	中止
8.7～8.10	全日本高校・大学ダンスフェスティバル	神戸文化ホール	20,000人	中止 →代替イベント
8.10～8.13	全日本9人制バレーボールクラブカップ女子選手権大会	グリーンアリーナ神戸	6,000人	中止
8.22～8.23	日本泳法大会	ポートアイランドスポーツセンター	600人	中止
8.22～8.23	全国高等専門学校体育大会（剣道）	中央体育館	800人	中止
8.25～8.26	全国高等専門学校サッカー選手権大会	ユニバー記念競技場	2,200人	中止
8.29～8.30	全国高等専門学校体育大会（ハンドボール）	グリーンアリーナ神戸	1,000人	中止
9.4～9.6	全国高等専門学校体育大会（バスケットボール）	グリーンアリーナ神戸	1,300人	中止
10.31	神戸カップグラウンドゴルフ交歓大会	しあわせの村	1,000人	中止
11.15	神戸マラソン大会	神戸市内	20,000人	延期 →関連イベント
11.28～11.29	全日本女子車椅子バスケットボール選手権大会 兼 全国シニア選抜車椅子バスケットボール大会	グリーンアリーナ神戸	2,500人	中止
12.25～12.28	全国私立中学校テニス選手権大会	神戸総合運動公園		実施予定
1.3～1.10	全日本高等学校女子サッカー選手権大会	ノエビアスタジアム神戸、いぶきの森球技場	24,000人	実施予定
1.4～1.9	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会	ユニバー記念競技場	5,000人	実施予定
1.21～1.24	全国私立高等学校テニス選手権大会（団体戦）	神戸総合運動公園、しあわせの村		実施予定
2.21	日本陸上競技選手権大会男子・女子20km競歩	六甲アイランド	1,500人	実施予定
3.6～3.7	JFA全日本フットサル選手権大会（1・2回戦）	中央体育館	3,000人	実施予定
3.13～3.14	ジャパンオープンパラ卓球選手権大会	グリーンアリーナ神戸	1,200人	実施予定
3.20～3.21	全日本エアロビクスコンテスト全国大会	神戸文化ホール	2,000人	実施予定
3.25～3.28	全国高等専門学校バレーボール選手権大会	グリーンアリーナ神戸	1,000人	実施予定

2. 令和2年度スポーツイベント一覧（神戸市関係分）

その他

開催日	内容	会場	規模	状況
4.12～10.25	神戸市民体育大会（22競技）	市内スポーツ施設	40,000人	中止
8月～11月	神戸市総合体育大会（15競技）	市内スポーツ施設	16,000人	中止
5・6月、9・10月	神戸市生涯体育大学	市内スポーツ施設	480人	中止
5月～10月	兵庫県高等学校総合体育大会	市内スポーツ施設	33,000人	中止 → 代替大会
6月	神戸市中学校総合体育大会	市内スポーツ施設	14,000人	中止 → 代替大会
7月	兵庫県中学校総合体育大会	市内スポーツ施設	9,000人	中止
8月	神戸市少年団野球全市大会	あじさいスタジアム北神戸 総合運動公園サブ球場	1,000人	中止 → 代替大会
9月～3月	神戸総合型地域スポーツクラブ全市交流大会（10競技）	市内スポーツ施設	1,300人	中止
11.8	六甲シティマラソン大会	六甲アイランド	4,000人	延期
1.23	あじさいロードレース	しあわせの村	1,800人	延期

備考

・Jリーグ等のトップチームのリーグ戦・カップ戦は除く

3. コロナ禍におけるスポーツ振興の取組

(1) スポーツ大会・イベントの開催

「密集・密接」場面の回避が困難であることなど、安全・安心な運営が困難であると判断した大会・イベントについては中止。

一部の大会・イベントについては、感染症対策を講じたうえで、実施方式・日程を変更しての開催や、代替大会・イベント等の開催により、スポーツの機会確保に努める。

①神戸マラソン（関連イベント）

「神戸マラソン ランナー応援プロジェクト」として以下の3つのイベントを開催。

- ・野口みずきさん アシックスランニング教室（9/26（土）開催）
- ・フレンドシップリレーマラソン（11/14（土）開催）
- ・ジュニアランニング教室（11/15（日）開催）

また、アシックスが提供するフィットネス・トラッキング・アプリ「ASICS Runkeeper™」と連携して神戸マラソン初のオンラインマラソンイベントを実施。

イベント名称：シスメックス 神戸マラソン ONLINE by ASICS Runkeeper™

開催期間：11/1（日）～11/20（金）21:00

種目：①42.195km、②21.0975km、③10km、④5km

②神戸市少年団野球全市大会（実施方式・日程変更）

8月開催から10/10～11/1までの7日間の日程に変更のうえ、試合会場を分散させ、出場数は全24チームから全16チームに縮小して開催。

③全日本高校・大学ダンスフェスティバル（代替イベント）

大会開催を予定していた8/8（土）に「つながろう ダンスのちからでオンラインダンスフェスティバル」として、以下の3つのテーマで各校から作品を募集し、オンラインで作品を披露するイベントを開催。

- ・文字で踊ろう「ダンス川柳」
- ・写真の中で踊ろう「コラージュ」
- ・離れて踊ろう「フィジカルディスタンスダンス」

④神戸市中学校総合体育大会（代替大会）

7月～8月（相撲は10月、柔道は11月）にかけて、市内スポーツ施設等の会場を確保し、全16競技において代替大会を開催。

(2) 屋内体育施設における感染症対策

スポーツ庁のガイドライン等を参考に、本市の屋内体育施設における新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、適切な施設運営に努めるための指針を策定し、各施設へ周知・徹底を行っている。

(主な内容)

- ・人と人との距離等：3密（密閉、密集、密接）の回避
入場制限や、観客席の利用制限、インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及等。
- ・症状のある方の利用制限
入館時の体温チェックや、利用時の書面提出（連絡先や自覚症状の有無）。
- ・マスクの着用、スポーツ用具の管理（貸出前後の消毒等）
- ・更衣室、シャワー室、休憩室の利用制限

(3) Withコロナ時代における野外活動の推進

令和2年度9月補正予算において、下記事業の予算を計上した。

①子どもたちの野外活動の場の再整備（6,500万円）

子どもたちの野外活動を支援するため、洞川教育キャンプ場の炊さん場、野外食堂、通路等や自然の家の通信環境を再整備。

②トップスポーツ選手によるスポーツレッスン動画配信（300万円）

イベントの参加人数の制限などにより、プロスポーツを直接見る機会が制限されている子どもたちに対して、トップスポーツチーム所属選手がレッスン動画を配信。

③ハイキング道・市民公園等の整備（3,800万円）

ハイキング等をより安全にできるよう、緊急雇用を活用した六甲山系のハイキング道等の整備・調査や、市民公園等の環境整備（樹木伐採等）を実施。

④新たな自転車活用策の検討（1,000万円）

需要が高まりつつある自転車がより活用しやすい環境を形成していくため、シェアサイクル事業の効率的運営手法や、新たな自転車活用施策などについて調査・検討。

→令和3年度予算編成においても、Withコロナ時代におけるスポーツのあり方を踏まえ、事業内容を検討。

(例) トップアスリート等による学校訪問事業について、オンラインや動画での対応も可能とする など。